



国土交通省近畿地方整備局

Kinki Regional Development Bureau

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

近畿地方整備局 九頭竜川ダム統合管理事務所	配布日時	平成29年 8月10日 10時00分
資料配付		

件名	【台風5号関連出水対応】 九頭竜ダムで洪水(約358万トﾝ:東京ドーム2.9杯分) を全量貯留し、大野市朝日地点で約0.9mの水位低下
----	---

概要	<p>台風5号関連の降雨は、九頭竜ダム上流域平均累加雨量は、190mmに達しました。この関係で、九頭竜ダムには最大約322m³/sの洪水が流入しました。</p> <p>九頭竜ダムでは、この洪水を全量貯留し、下流の洪水被害の軽減を図りました。(別添図-1参照)具体的には、大野市(旧和泉村)朝日水位観測所地点で、約0.9mの水位低減が認められました。</p> <p>今回配付資料は、九頭竜川ダム統合管理事務所に関するもののみです。</p>
----	---

取扱い	新聞: _____ テレビ・ラジオ: _____
-----	-----------------------------

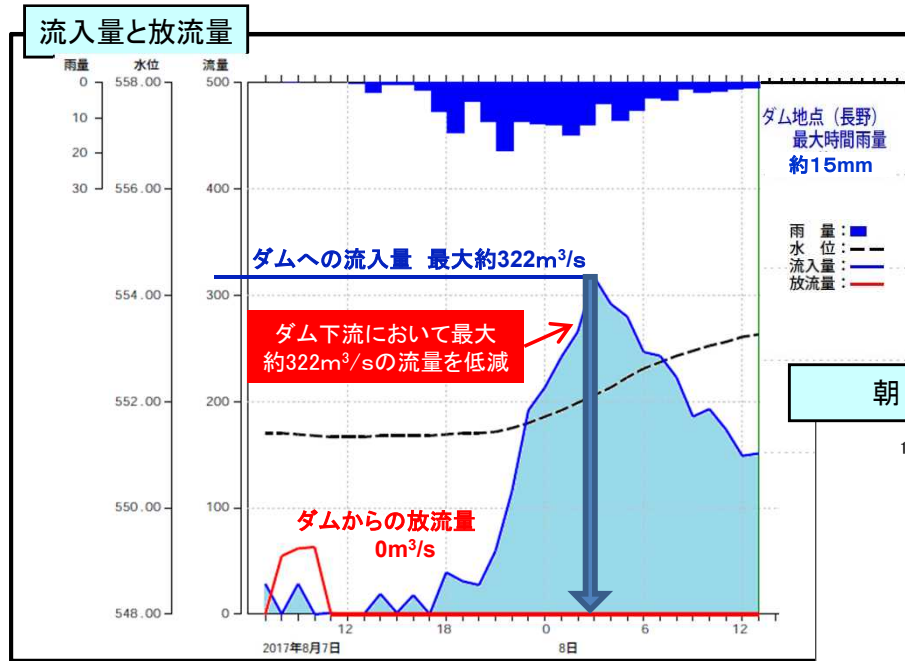
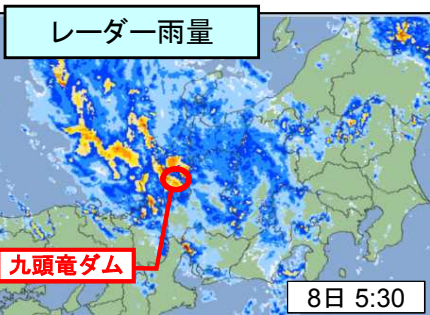
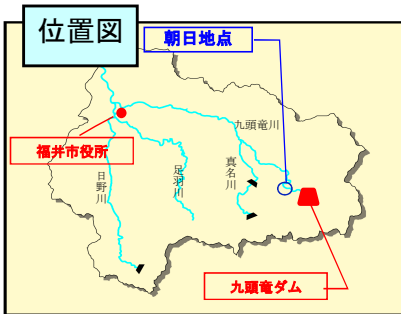
配布場所	大野市政記者クラブ
------	-----------

問合せ先	■近畿地方整備局 九頭竜川ダム統合管理事務所 管理課長 森川 修 (内線331) 電話 0779(66)5300(代)
------	---

九頭竜ダムの洪水調節効果：平成29年8月台風5号による出水

○平成29年台風5号に伴う豪雨において九頭竜川上流域では、8月7日から8月8日にかけて、総雨量が**190mm**を超える降雨となり、九頭竜ダムへの流入量が今年度最大となる**約322m³/s**を記録しました。

○九頭竜ダムでは、**約358万m³**（東京ドーム2.9杯分）の洪水を全量貯留し、ダム下流の朝日地点（大野市朝日付近）において、九頭竜川の水位を最大**約0.9m**低下させる効果があったと推定されます。



朝日地点の水位
 ダム貯留無：3.53m
 ダム貯留後：2.65m
 →約0.9mの水位低減

